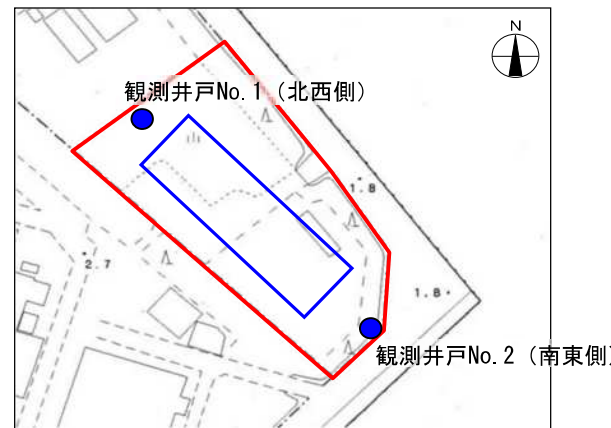


日本ガイシ(株)知多事業所 9号地産業廃棄物処分場新設工事における地下水水質調査

【調査地点】



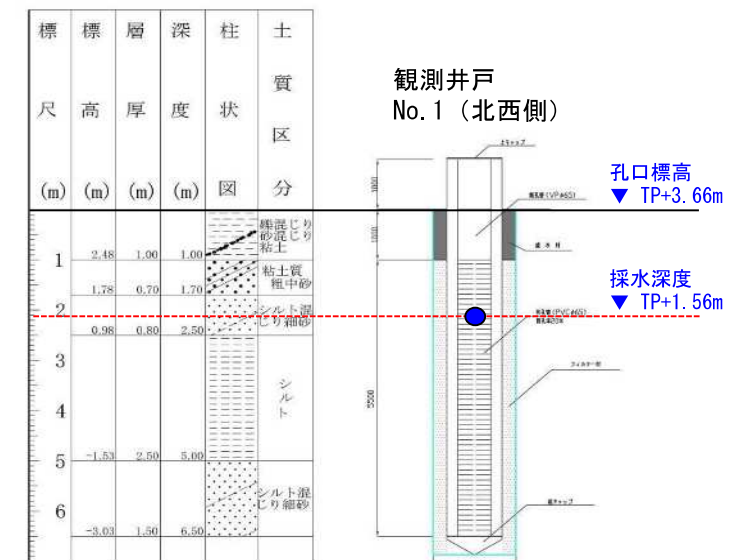
観測井戸No. 1 (北西側)



観測井戸No. 2 (南東側)

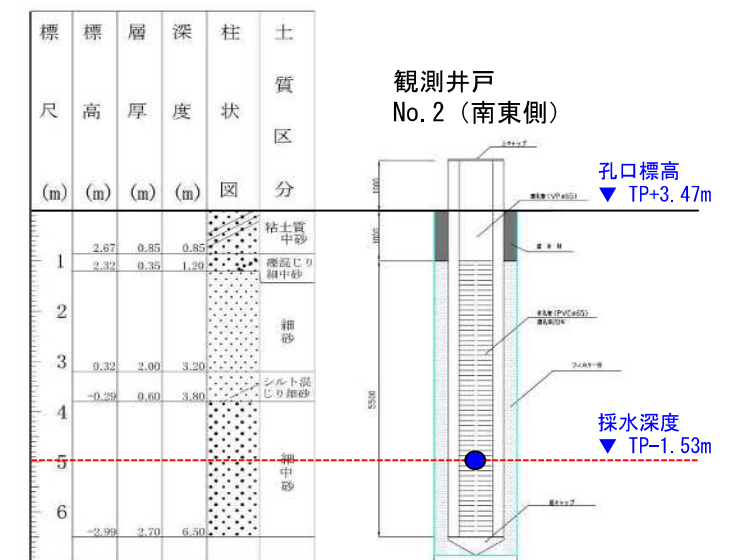
【観測井戸No.1(北西側)】

調査年月日			令和3年4月13日		令和3年5月		令和3年6月		備考
潮汐			干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	
採水時刻			12:40	17:30					
天候			曇	雨					
水位	TP	m	2.49	2.57					
	GL	m	-1.17	-1.09					
気温			16.2	15.4					
水温			13.0	12.9					
透視度			100以上	100以上					
外観			淡黄色透	淡黄色透					
分析項目	臭気	—	弱藻臭	弱藻臭					
	水素イオン濃度	—	7.3	7.3					
	溶存酸素量	mg/L	5.4	6.9					
	全有機炭素(TOC)	mg/L	4.8	4.6					
	溶存有機炭素(DOC)	mg/L	4.4	4.4					
硫酸イオン			mg/L	16	16				



【観測井戸No.2(南東側)】

調査年月日			令和3年4月13日		令和3年5月		令和3年6月		備考
潮汐			干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	干潮時	満潮時	
採水時刻			13:00	18:00					
天候			曇	雨					
水位	TP	m	0.19	0.89					
	GL	m	-3.28	-2.58					
気温			15.6	15.6					
水温			14.8	14.9					
透視度			100以上	100以上					
外観			無色透明	無色透明					
分析項目	臭気	—	弱藻臭	弱藻臭					
	水素イオン濃度	—	7.2	7.1					
	溶存酸素量	mg/L	2.1	0.9					
	全有機炭素(TOC)	mg/L	3.7	3.4					
	溶存有機炭素(DOC)	mg/L	3.1	3.0					
硫酸イオン			mg/L	27	29				



# 計 量 証 明 書

東海技水第 21120270-001 号 (1/2)

令和 3 年 4 月 22 日

日本ガイシ株式会社

様



計量証明事業 愛知県知事登録 第268号  
 一般財団法人 東海技術センター  
 理事長 平井 修司  
 名古屋市名東区藤が丘二丁目710番地  
 TEL (052) 771-5141 465-0021  
 環境計量士 土屋 忍

出張採取した下記の試料に対する計量の結果を次のとおり証明します。

試料の種類	地下水	採取日時	令和 3年 4月 13日 12時 40分	
採取場所	観測井戸No.1 (北西側) 干潮時			
計量の対象	単位	計量の結果	計量の方法 (別紙の方法)	特記事項
1 * 気温	℃	16.2	1	採取者名：植原、山本 天候：曇 *****
2 * 水温	℃	13.0	2	
3 * 外観	—	淡黄色透	3	
4 * 臭気	—	弱藻臭	4	
5 * 透視度	度	100以上	5	
6 水素イオン濃度	—	7.3 (21℃)	6	
7 溶存酸素量	mg/L	5.4	7	
8 全有機炭素 (TOC)	mg/L	4.8	8	
9 溶解性有機体炭素 (DOC)	mg/L	4.4	9	
10 硫酸イオン (以下余白)	mg/L	16	10	

計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあつては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地  
 \*\*\*\*\*

計量証明にかかわらない事項  
 \*印の項目は計量証明の対象外です。  
 水位 6L-1.17m  
 件名：日本ガイシ橋知多事業所 9号地産業廃棄物処分場新設工事における水質調査  
 \*\*\*\*\*

# 計量の方法一覧表

東海技水第 21120270-001 号 (2/2)

番号	計量の対象	計量の方法
1	気温	JIS K0102 7.1に定める方法
2	水温	JIS K0102 7.2に定める方法
3	外観	JIS K0102 8に定める方法
4	臭気	JIS K0102 10.1備考2に定める方法(冷時臭)
5	透視度	JIS K0102 9に定める方法
6	水素イオン濃度	JIS K0102 12.1に定めるガラス電極法
7	溶存酸素量	JIS K0102 32.1に定めるよう素滴定法
8	全有機炭素 (TOC)	JIS K0102 22.2に定める燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法 (NPOC法)
9	溶解性有機体炭素 (DOC)	ろ過後、JIS K0102 22.2 燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法
10	硫酸イオン (以下余白)	JIS K0102 41.3に定めるバロメータ法

# 計 量 証 明 書

東海技水第 21120270-003 号 (1/2)

令和 3 年 4 月 22 日

日本ガイシ株式会社

様



計量証明事業 愛知県知事登録 第 262 号  
 一般財団法人 東海技術センター  
 理事長 平井 郁夫  
 名古屋市名東区藤子三丁目 7 1 0 番地  
 TEL (052) 975-5161 傳 465-0021  
 環境計量士 土屋 聡

出張採取した下記の試料に対する計量の結果を次のとおり証明します。

試料の種類	地下水	採取日時	令和 3 年 4 月 13 日 17 時 30 分	
採取場所	観測井戸No. 1 (北西側) 満潮時			
計量の対象	単位	計量の結果	計量の方法 (別紙の方法)	特記事項
1 * 気温	℃	15.4	1	採取者名：植原、山本 天候：雨 *****
2 * 水温	℃	12.9	2	
3 * 外観	—	淡黄色透	3	
4 * 臭気	—	弱藻臭	4	
5 * 透視度	度	100以上	5	
6 水素イオン濃度	—	7.3 (21℃)	6	
7 溶存酸素量	mg/L	6.9	7	
8 全有機炭素 (TOC)	mg/L	4.6	8	
9 溶解性有機体炭素 (DOC)	mg/L	4.4	9	
10 硫酸イオン (以下余白)	mg/L	16	10	

計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあっては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地  
 \*\*\*\*\*

計量証明にかかわらない事項  
 \*印の項目は計量証明の対象外です。  
 水位 GL-1.09m  
 件名：日本ガイシ愛知多事業所 9号地産業廃棄物処分場新設工事における水質調査  
 \*\*\*\*\*

# 計量の方法一覧表

東海技水第 21120270-003 号 (2/2)

番号	計量の対象	計量の方法
1	気温	JIS K0102 7.1に定める方法
2	水温	JIS K0102 7.2に定める方法
3	外観	JIS K0102 8に定める方法
4	臭気	JIS K0102 10.1備考2に定める方法(冷時臭)
5	透視度	JIS K0102 9に定める方法
6	水素イオン濃度	JIS K0102 12.1に定めるガラス電極法
7	溶存酸素量	JIS K0102 32.1に定めるよう索滴定法
8	全有機炭素 (TOC)	JIS K0102 22.2に定める燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法 (NEOC法)
9	溶解性有機体炭素 (DOC)	ろ過後、JIS K0102 22.2 燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法
10	硫酸イオン (以下余白)	JIS K0102 41.3に定める(バロメータ)法

# 計 量 証 明 書

東海技水第 21120270-002 号 (1/2)

令和 3 年 4 月 22 日

日本ガイシ株式会社

様



計量証明事業 愛知県知事登録 第362号  
 一般財団法人 東海技術センター  
 理事長 平井 修司  
 名古屋市名東区登子本二丁目710番地  
 TEL (052) 771-5101 代 465-0021  
 環境計量士 土屋 窓

出張採取した下記の試料に対する計量の結果を次のとおり証明します。

試料の種類	地下水	採取日時	令和 3年 4月 13日 13時 00分	
採取場所	観測井戸No. 2 (南東側) 干潮時			
計量の対象	単位	計量の結果	計量の方法 (別紙の方法)	特記事項
1 * 気温	℃	15.6	1	採取者名：植原、山本 天候：曇 *****
2 * 水温	℃	14.8	2	
3 * 外観	—	無色透明	3	
4 * 臭気	—	弱藻臭	4	
5 * 透視度	度	100以上	5	
6 水素イオン濃度	—	7.2(21℃)	6	
7 溶存酸素量	mg/L	2.1	7	
8 全有機炭素 (TOC)	mg/L	3.7	8	
9 溶解性有機体炭素 (DOC)	mg/L	3.1	9	
10 硫酸イオン (以下余白)	mg/L	27	10	

計量証明の事業の工程の一部を外請の者に行われた場合にあっては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地  
 \*\*\*\*\*

計量証明にかかわらない事項  
 \*印の項目は計量証明の対象外です。  
 水位 GL-3.28m  
 件名：日本ガイシ(株)知多事業所 9号地産業廃棄物処分場新設工事における水質調査  
 \*\*\*\*\*

# 計量の方法一覧表

東海技水第 21120270-002 号 (2/2)

番号	計量の対象	計量の方法
1	気温	JIS K0102 7.1に定める方法
2	水温	JIS K0102 7.2に定める方法
3	外観	JIS K0102 8に定める方法
4	臭気	JIS K0102 10.1備考2に定める方法(冷時臭)
5	透視度	JIS K0102 9に定める方法
6	水素イオン濃度	JIS K0102 12.1に定めるガラス電極法
7	溶存酸素量	JIS K0102 32.1に定めるよう素滴定法
8	全有機炭素 (TOC)	JIS K0102 22.2に定める燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法 (NPOC法)
9	溶解性有機体炭素 (DOC)	ろ過後、JIS K0102 22.2 燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法
10	硫酸イオン (以下余白)	JIS K0102 41.3に定めるバリウムクロライド法

# 計 量 証 明 書

東海技水第 21120270-004 号 (1/2)

令和 3 年 4 月 22 日

日本ガイシ株式会社

様



計量証明事業 愛知県知事登録 第 362 号  
 一般財団法人 東海技術センター  
 理事長 平井 修哉  
 名古屋市名東区栄三丁目 7-10 番地  
 TEL (052) 711-5161 傳 465-0021  
 環境計量士 土屋 隆

出張採取した下記の試料に対する計量の結果を次のとおり証明します。

試料の種類	地下水	採取日時	令和 3 年 4 月 13 日 18 時 00 分		
採取場所	観測井戸No. 2 (南東側) 満潮時				
計量の対象	単位	計量の結果	計量の方法 (別紙の方法)	特記事項	
1 * 気温	℃	15.6	1	採取者名：植原、山本 天候：雨 *****	
2 * 水温	℃	14.9	2		
3 * 外観	—	無色透明	3		
4 * 臭気	—	弱薬臭	4		
5 * 透視度	度	100以上	5		
6 水素イオン濃度	—	7.1 (21℃)	6		
7 溶存酸素量	mg/L	0.9	7		
8 全有機炭素 (TOC)	mg/L	3.4	8		
9 溶解性有機体炭素 (DOC)	mg/L	3.0	9		
10 硫酸イオン (以下余白)	mg/L	29	10		

計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行われた場合にあつては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地  
 \*\*\*\*\*

計量証明にかかわらない事項

\*印の項目は計量証明の対象外です。  
 水位 GL-2.58m  
 件名：日本ガイシ備知多事業所 9号地産業廃棄物処分場新設工事における水質調査  
 \*\*\*\*\*



# 計量の方法一覧表

東海技水第 21120270-004 号 (2/2)

番号	計量の対象	計量の方法
1	気温	JIS K0102 7.1に定める方法
2	水温	JIS K0102 7.2に定める方法
3	外観	JIS K0102 8に定める方法
4	臭気	JIS K0102 10.1備考2に定める方法(冷時臭)
5	透視度	JIS K0102 9に定める方法
6	水素イオン濃度	JIS K0102 12.1に定めるガラス電極法
7	溶存酸素量	JIS K0102 32.1に定めるようろ滴定法
8	全有機炭素 (TOC)	JIS K0102 22.2に定める燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法 (NPOC法)
9	溶解性有機体炭素 (DOC)	ろ過後、JISK0102 22.2 燃焼酸化-赤外線式TOC自動計測法
10	硫酸イオン (以下余白)	JIS K0102 4L.3に定めるバロメータ法